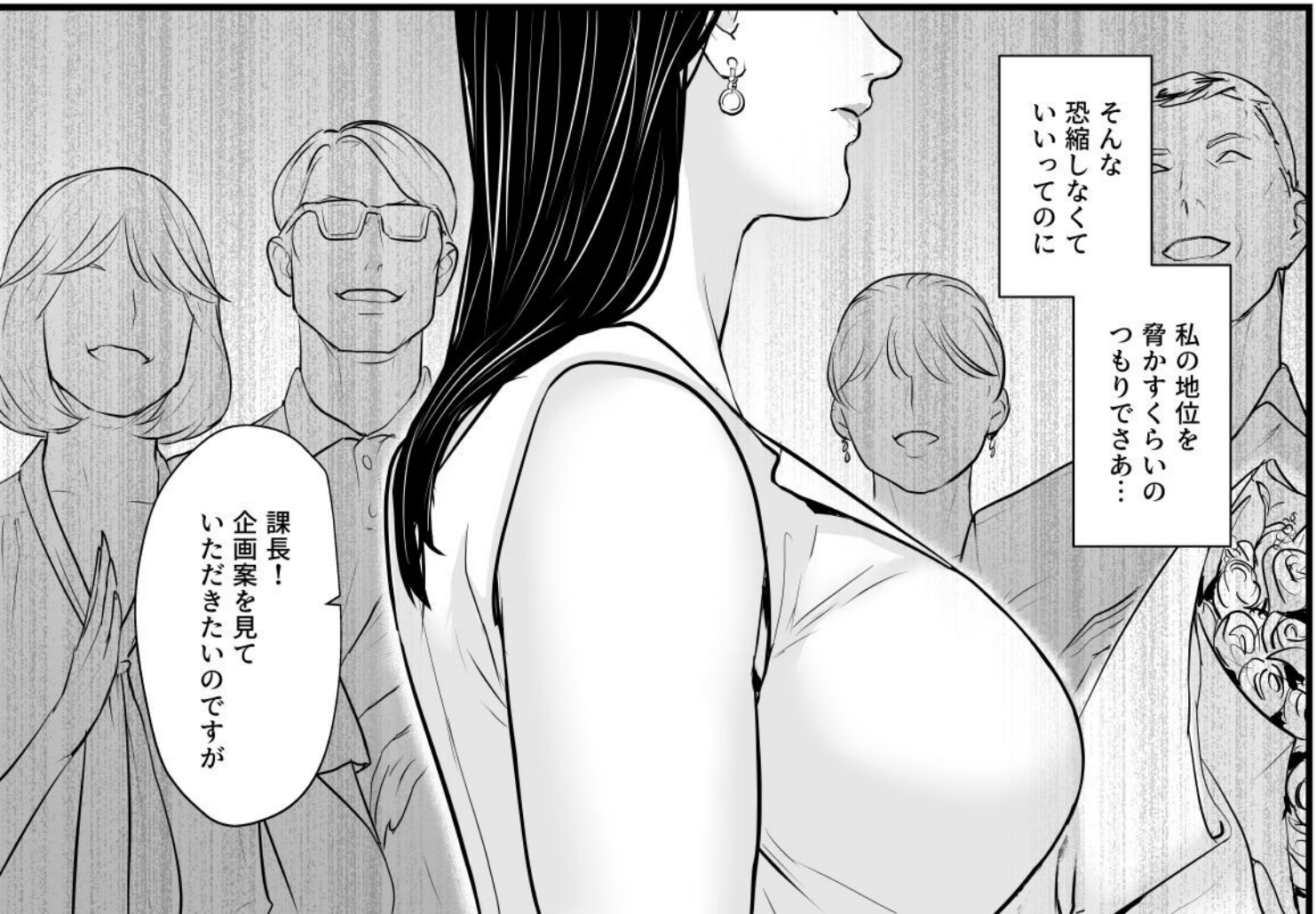
エリート女課長は屈服させられたい

79 ページ

作：ブロイラー野島

佐藤課長
外回り
お疲れ様です
あ
ただいま

課長！
社内表彰
おめでとう
ございます！
ん…
どうも
ありがと


そんな
恐縮しなくて
いいってのに
私の地位を
脅かすくらいの
つもりでさあ…
課長！
企画案を見て
いただきたいのですが

エリート女課長は屈服させられたい

79
ページ

作：ブロイラー野鳥

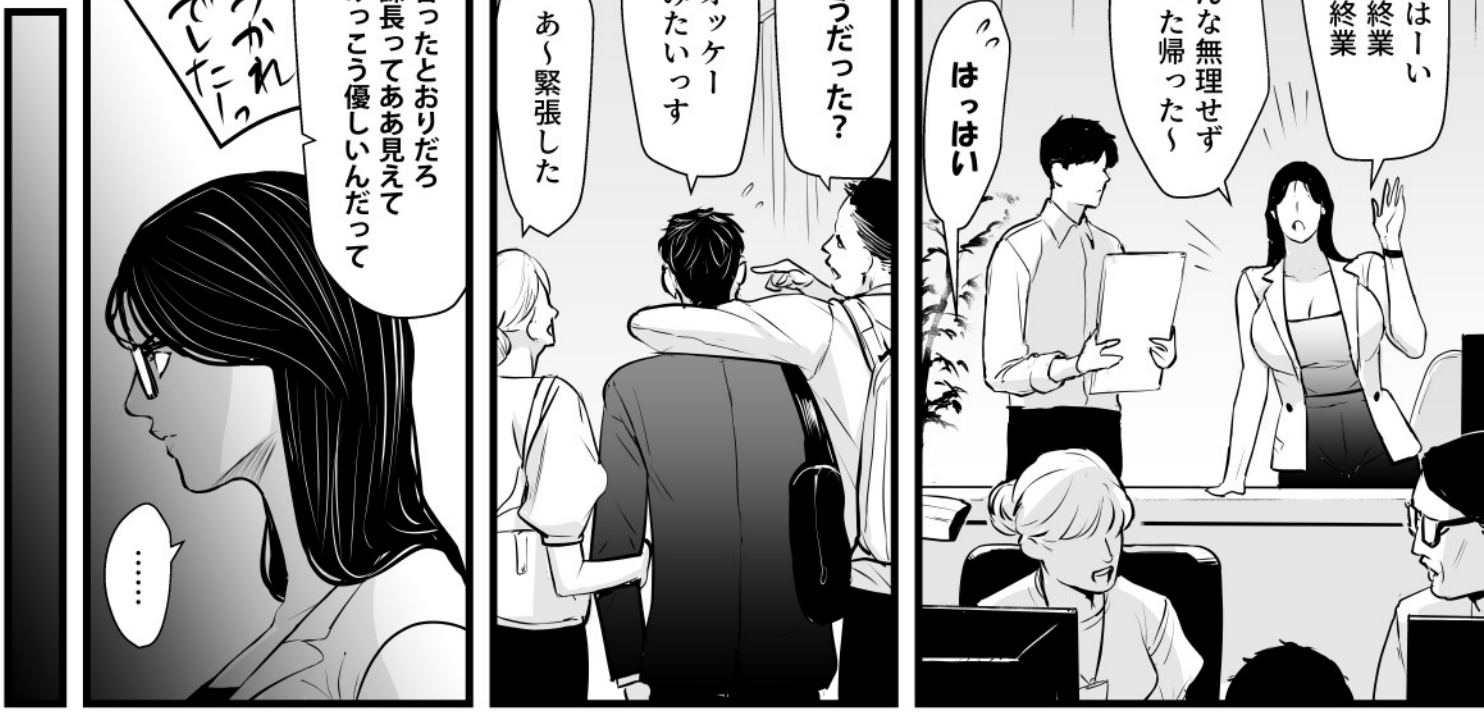
佐藤課長…
如何でしょうか
……
企画案の
出来の方は…？

こんな
もんか…
えっ

おっと危ない…
ニッコリ
よく
まとまってると
思うわ
秋の商戦に向けた
有力な候補に
なりそうね

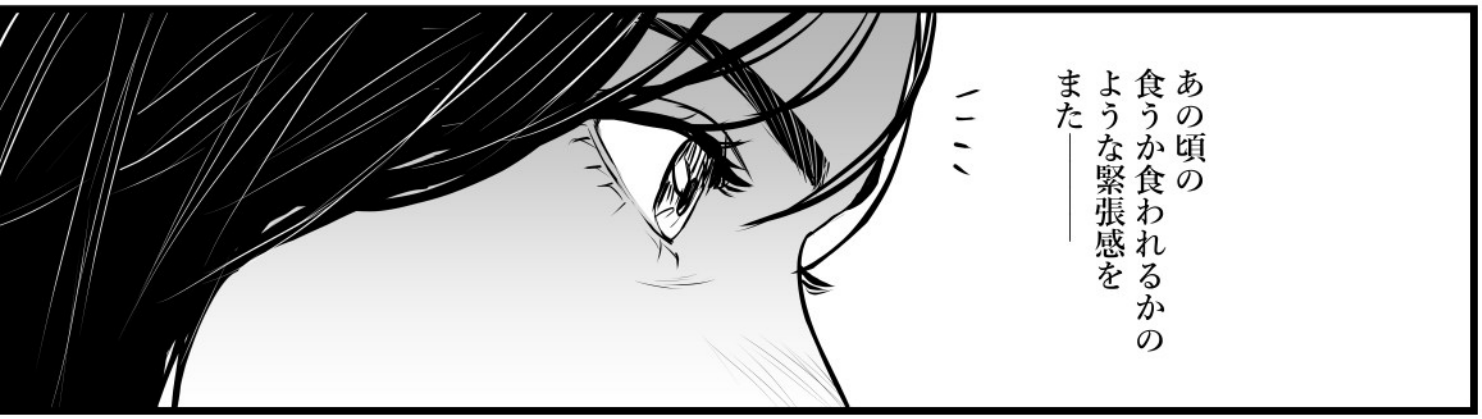
あらもう
こんな時間

……


はーい
終業
終業
みんな無理せず
帰った帰った～
はっはい
どうだった？
オッケー
みたいっす
あ～緊張した
言ったとおりだろ
課長ってああ見えて
けっこう優しいんだって
お疲れ様でした！
……

あ～退屈
ムたっ
今年で勤続10余年か…
この会社もずいぶん
変わったものね
働き方改革…
コンプライアンス遵守…
特に変化を
感じるのが
新入社員たち
みんな真面目で
善良な子たち
ばかりなのよね
それはまあ
喜ばしいこと
ではあるけどさ

喫煙室
SMOKING ROOM
はぁ
昔は社員間での競争も激しかったな…
けっきょく同期で生き残ったのは私だけか
おかげで課長にまでにはなったけどさ
なんだか刺激が足りないのよね…


あの頃の食うか食われるかのような緊張感をまた――

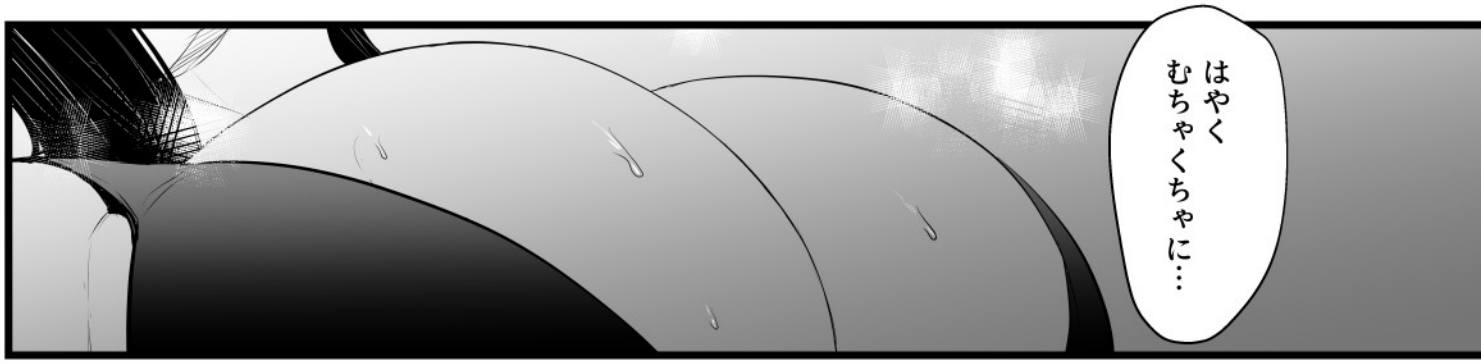
お疲れ様っす
どすっ

…あれ？
浅野くん
もう上がっていいのよ
ん～…さっきの企画案
オッケー
もらえたとはいえ
個人的には
消化不良だったというか
あら
中途で入った
ばかりだから
気を使われてんの
かなって

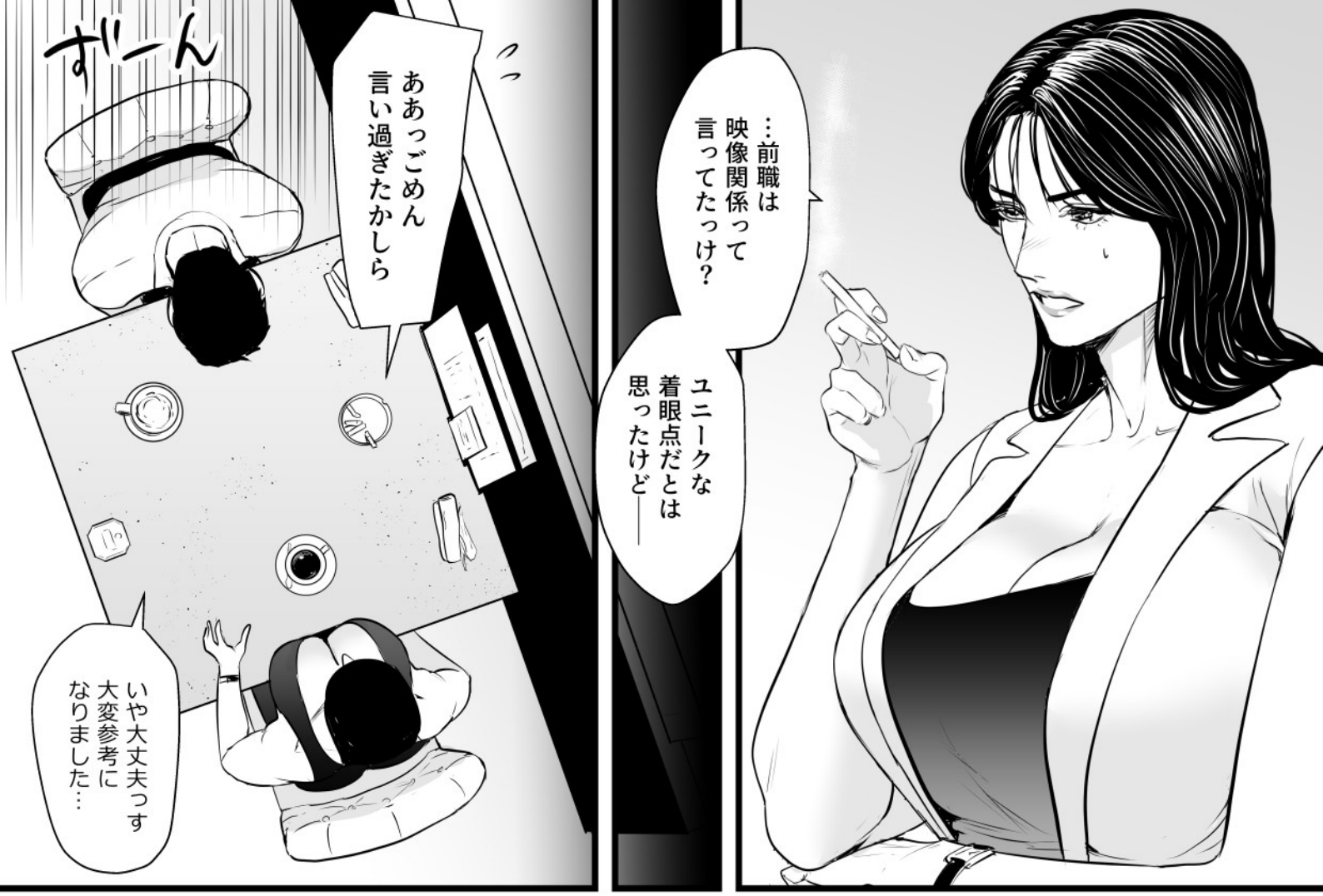
暑いな
ここ…
チラ
本心ねえ…

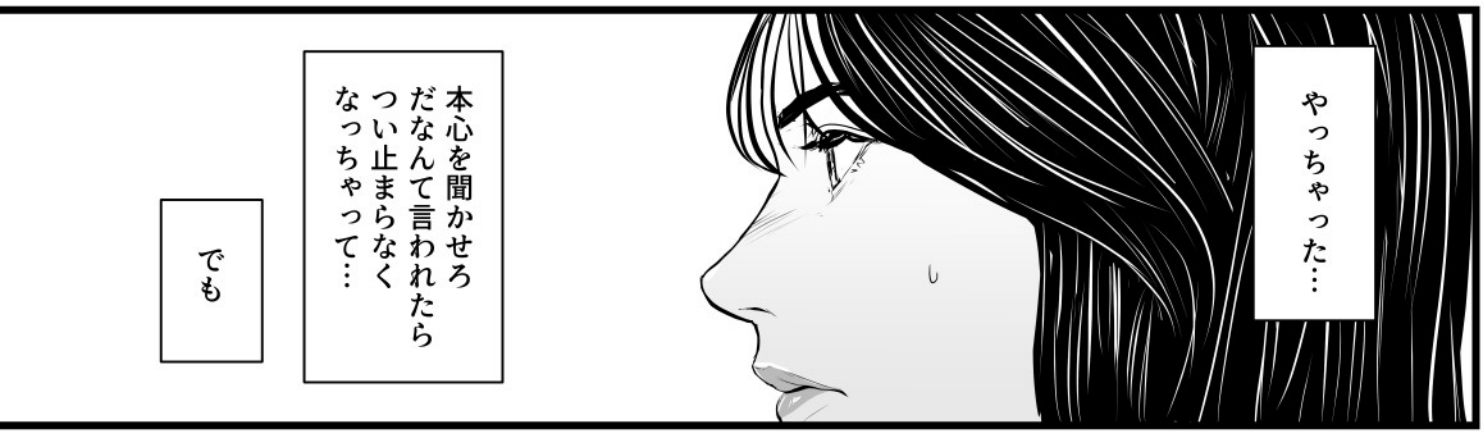
…別にそんな
ぜひ
課長の本心を
お聞かせ
願いたくてっ

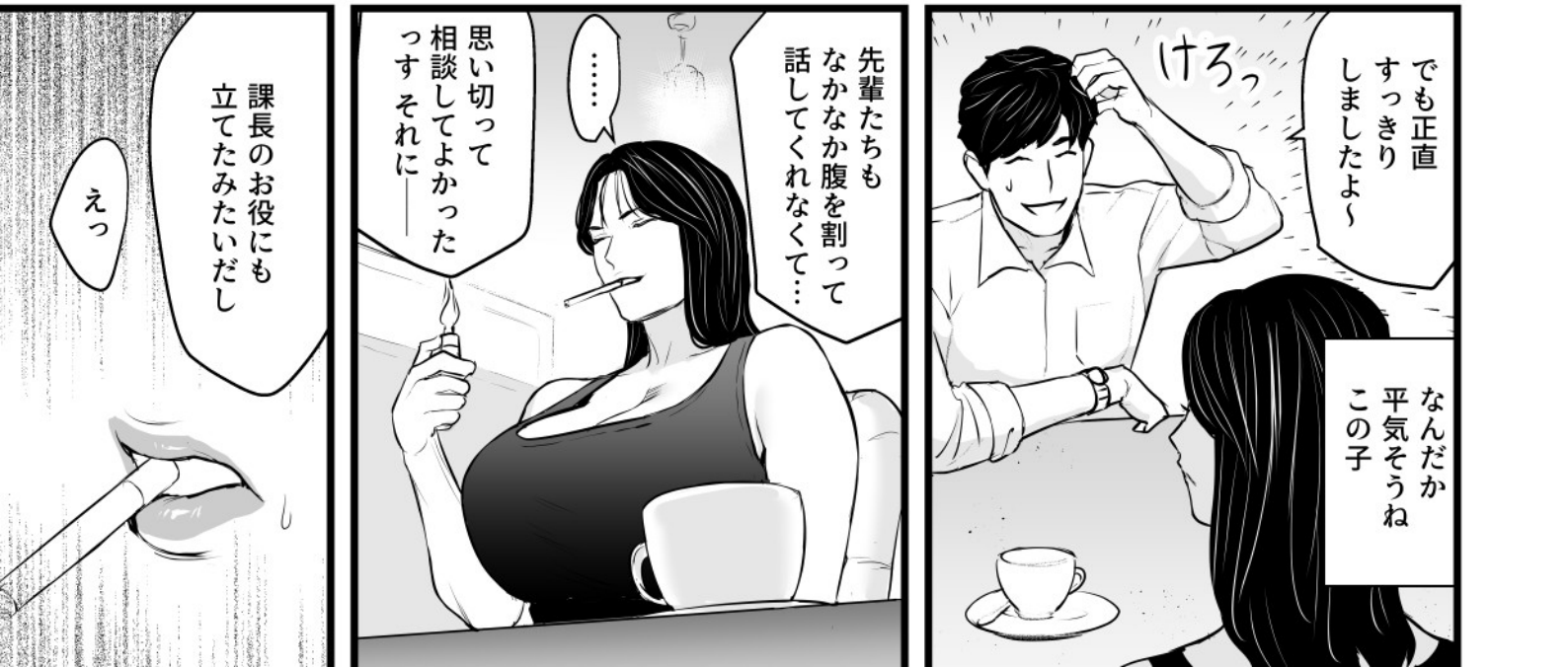
本心ね…
本心を言うなら
今とっても――
むちゃくちゃに
されたいってことかな
はあ…
まずいんじゃ
ないですか
それは～？
あら
せっかくこんなに
無防備だってのに
尻込みするって
いうの？


はやく
むちゃくちゃに…

佐藤課長？
はっ
…やば
変なこと考えてた
…あごめん
ええと そうね
さっきの企画案の
ことだけど――
…？


…前職は
映像関係って
言ってたっけ？
ユニークな
着眼点だとは
思ったけど——
ああっごめん
言い過ぎたかしら
ずーん
いや大丈夫っす
大変参考に
なりました…

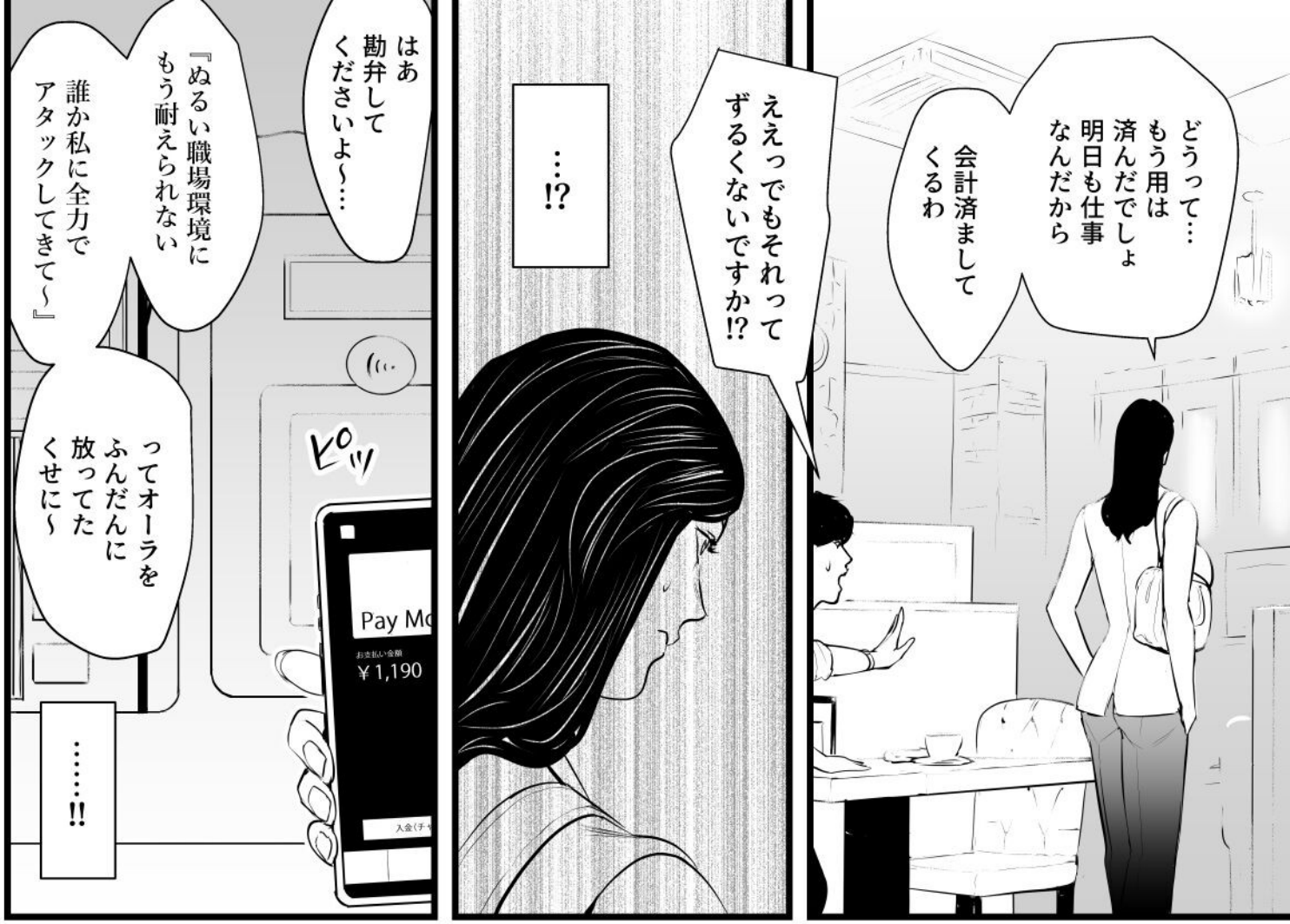

やっちゃった…
本心を聞かせろ
だなんて言われたら
つい止まらなく
なっちゃって…
でも


なんだか
平気そうね
この子
でも正直
すっきり
しましたよ～
けろっ
先輩たちも
なかなか腹を割って
話してくれなくて…
……
思い切って
相談してよかった
っす それに——
課長のお役にも
立てたみたいだし
えっ

いやなんだか
佐藤課長って
聞いてた話と
かなり印象違うな～
と思ってたんで
ずずず
会社創業以来
最年少の課長就任
……
妥協を許さない仕事ぶりに
負けん気の強さは指折りで
企画部の連中はみんな
縮み上がってるって
そう聞いてん
ですけどね～

なんだか自分を
抑えてらっしゃる
ように見えるん
ですよね…
あっもちろん
噂通りの
美人ってことは
本当でしたが
ははは
こいつ…
ふふ…
全部
昔のことよ
…つまり今は
退屈されていると？
ゴクリ
…!!

どうです？
たまにはパーッと
ぶちまけちゃったり
…なんて
いい相手が…
いればね
……
…そうね
ひさしぶりだな～…
こういう絡み方されるの
年齢は私より
4つか5つ下
ってとこかな
まだこの会社に
染まりきってない
って感じ
へ～
ドキ
ちょっと…
カワイイかも
とまあ
冗談はここまで…
あれっ
どうされました？
どうって…
コンプライア
上司として
社内不純恋
弱みを握られる可能性
……


どうって…
もう用は
済んだでしょ
明日も仕事
なんだから
会計済まして
くるわ
ええっでもそれって
ずるくないですか!?
…!?
はあ
勘弁して
くださいよ〜…
『ぬるい職場環境に
もう耐えられない
誰か私に全力で
アタックしてきて〜』
ってオーラを
ふんだんに
放ってた
くせに〜
ピッ
Pay Mo
お支払い金額
￥1,190
……!!

出てた?
え…まじ?
もろですよ
それに——
先に喫煙室で
色目使ってきたのは
佐藤課長の方でしょう?
ドキッ
!!
まじ…?
こいつ…
え…と
ああもうっ
そんな気まずそうな
反応やめてください
前向きに
捉えましょうよっ
!?
人間のもつ多種多様な欲望
それら全てを
「仕事」で満たそうって発想に
そもそも無理があるわけで…

満たされない欲望を
いかにして
満たすのか…？
課長にもあるじゃ
ないですか
ご立派な――
身体が♥
ドキン
…!!
持て余そうだなんて
もったいない～

これって至極
健全な方法だと
おもうんですよ～
仕事も遊びも
どちらも享受して
真の一流の
ライフスタイルだと
思いません？
……
それに
あまりに欲求不満を
抱え込んだままいると
そういうピリピリした
ムードが部下たちにも
伝わって
彼らをいっそう
委縮させてしまう
なんてケースも…

悪くない
かもね…
面白い子ね
じゃあ――

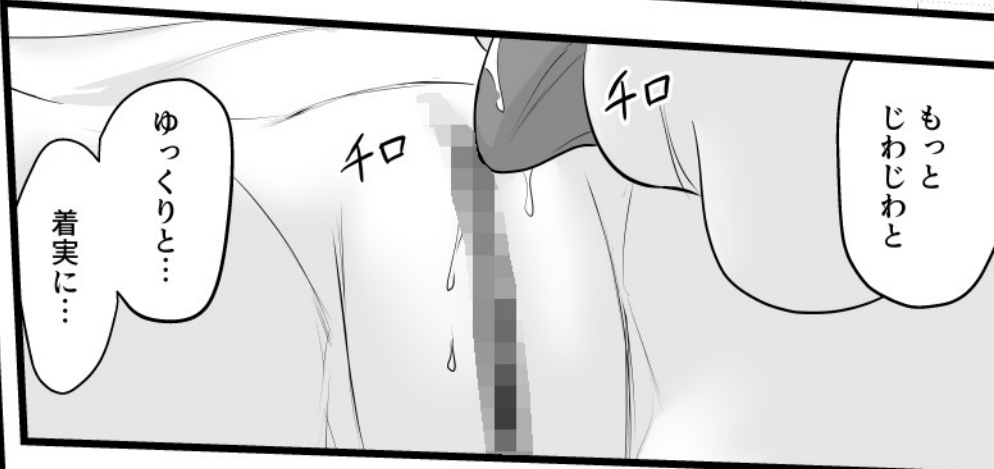
ゴホンッ
つまり君がその…
私の欲望の
はけ口に
なってくれる…と？
さようで
ございます
シャキーン

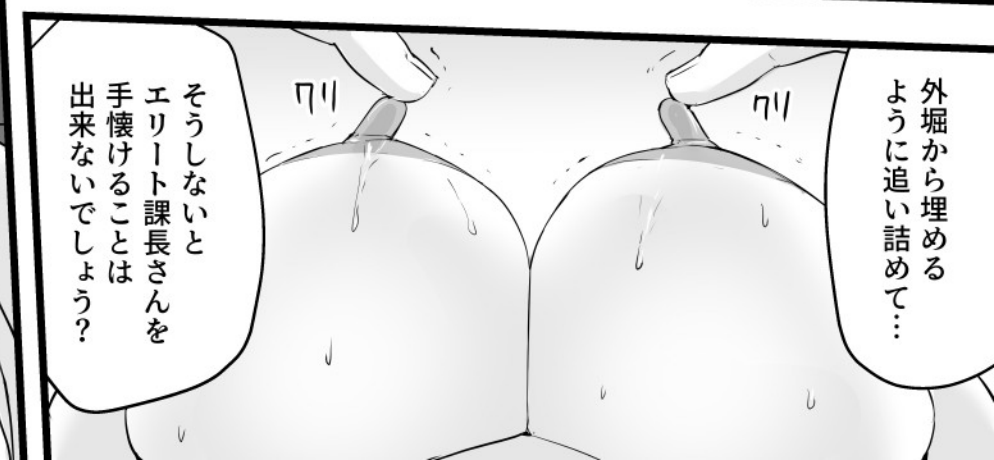
ん…
は…
かなり
急展開でしたね
あら
今さら
怖気づいた？
LOVE
くく…
恐れるのも
無理はなく
ないですか
あの佐藤課長が
相手なんですから
！
…こいっ
んっ…
好きに遊ばせて
もらおうかしら

聞きましたよ～
同期の殆どは
あなたとの
出世競争に負けて
抜け殻のようになって
退社していったと…
もみ
もみ
ふふ…
昔の男たちの話は
いいのよ
君は…
私を楽しませて
くれるのかな？
試してみる
資格は
ありますかね？
どーぞ♡
クリ
クリ
ああ…
久しぶりだな
この感じ

ぷはぁ…
すごい…
！
じゅるるっ
じゅるっ
ピク
ん…
ベロォ…
じゅるっ
じゅるるっ
？

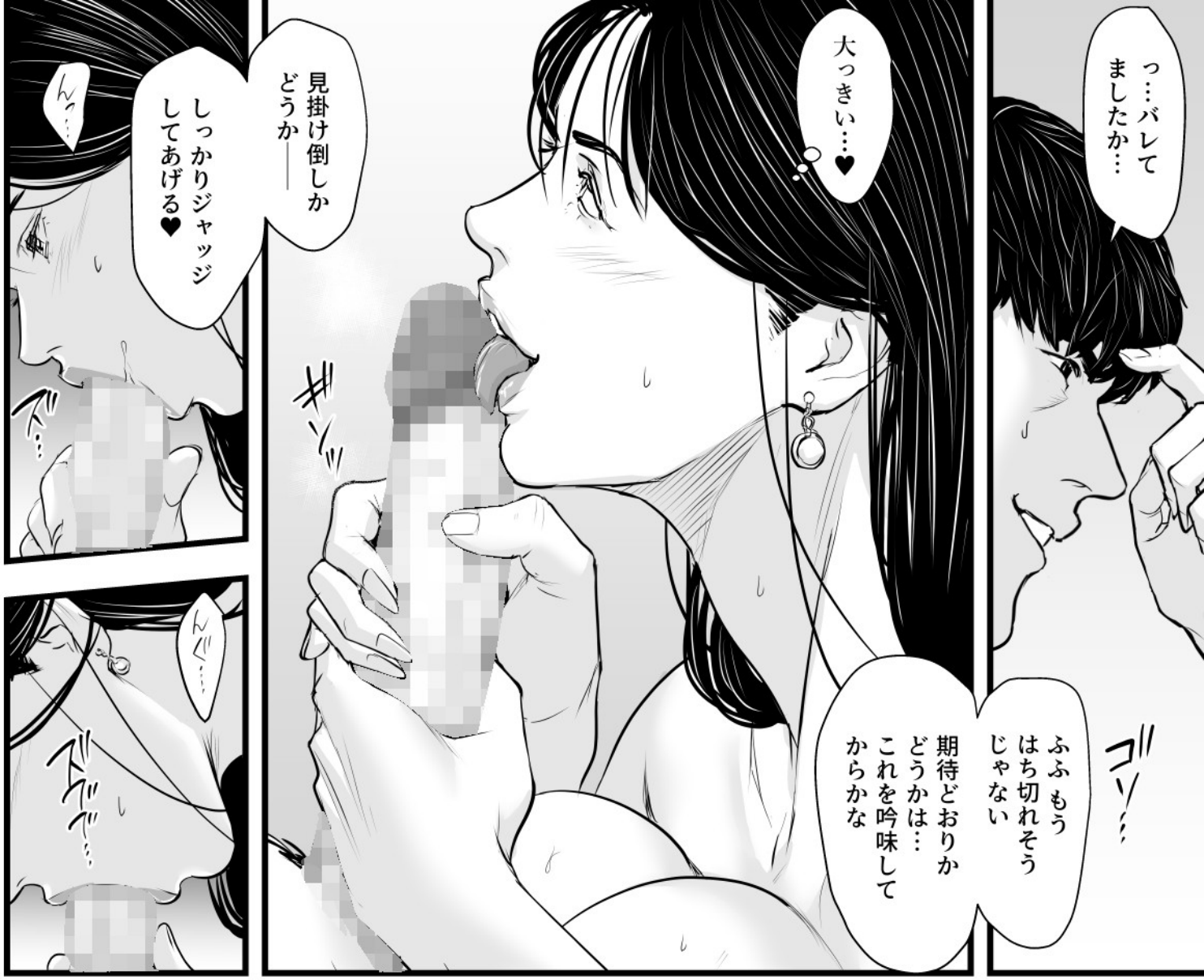
こんなにいやらしい身体の女(ひと)
初めてですよ～
…そう思うんならもっと溺れちゃってもいいのよ
それじゃだめですよ～
…！


もっとじわじわと
チロ
チロ
ゆっくりと…
着実に…


外堀から埋めるように追い詰めて…
クリ
クリ
そうしないとエリート課長さんを手懐けることは出来ないでしょう？

私を『手懐ける』ですって…？
…大した自信ねくす
でもかなり濡れてますよ
！

ほら
指先が
簡単に
入って…
ヌプ…
ふふっ…
ここかな？
グッ
びくんっ
あっ
やだ…
変な声
出ちゃった
レロ
なるほど
ここですね
ここ～
くちょ
膣口から
指関節2つ分
そこから少し
戻ったってとこですか
くちゅ
どうです？
今のところ
ご期待に添えている
と言っても――
！
ふっ
ふふ…
そうね
ただ――
つ…
ッ…！


っ…バレてましたか…
大っきい…♥
ふふ もうはち切れそうじゃない
期待どおりかどうかは…これを吟味してからかな
ゴリ
見掛け倒しかどうか——
しっかりジャッジしてあげる♥
んっ…
んぐ…
ズズズ…

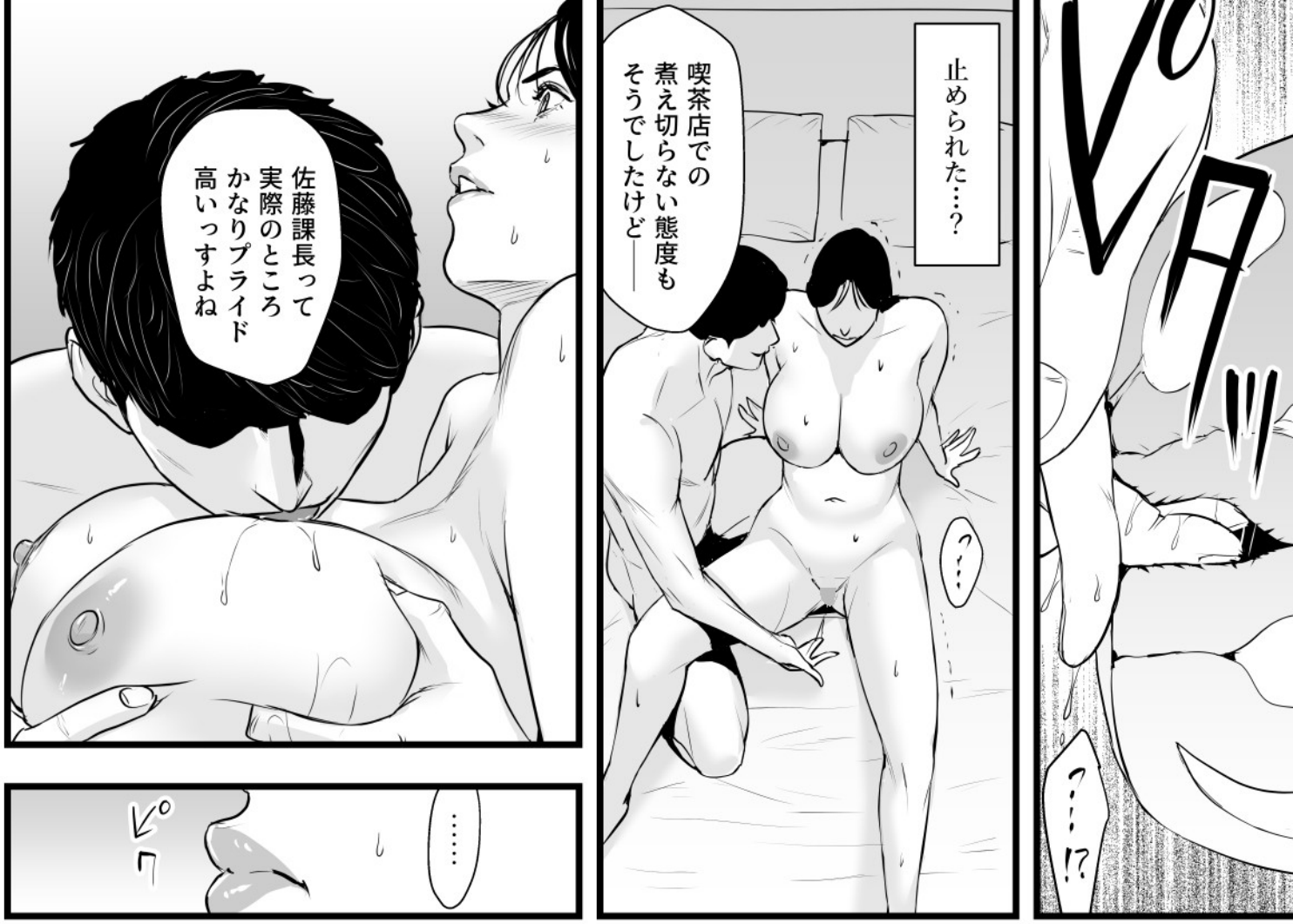
ぴくっ
っ…これはなかなか…
舌が絡みついてっ…
ん…
ズリッ
それ反則っす…
ズリッ
あ…ん
ズリッ
は…ん
お…おおだめ圧迫されて
っ…

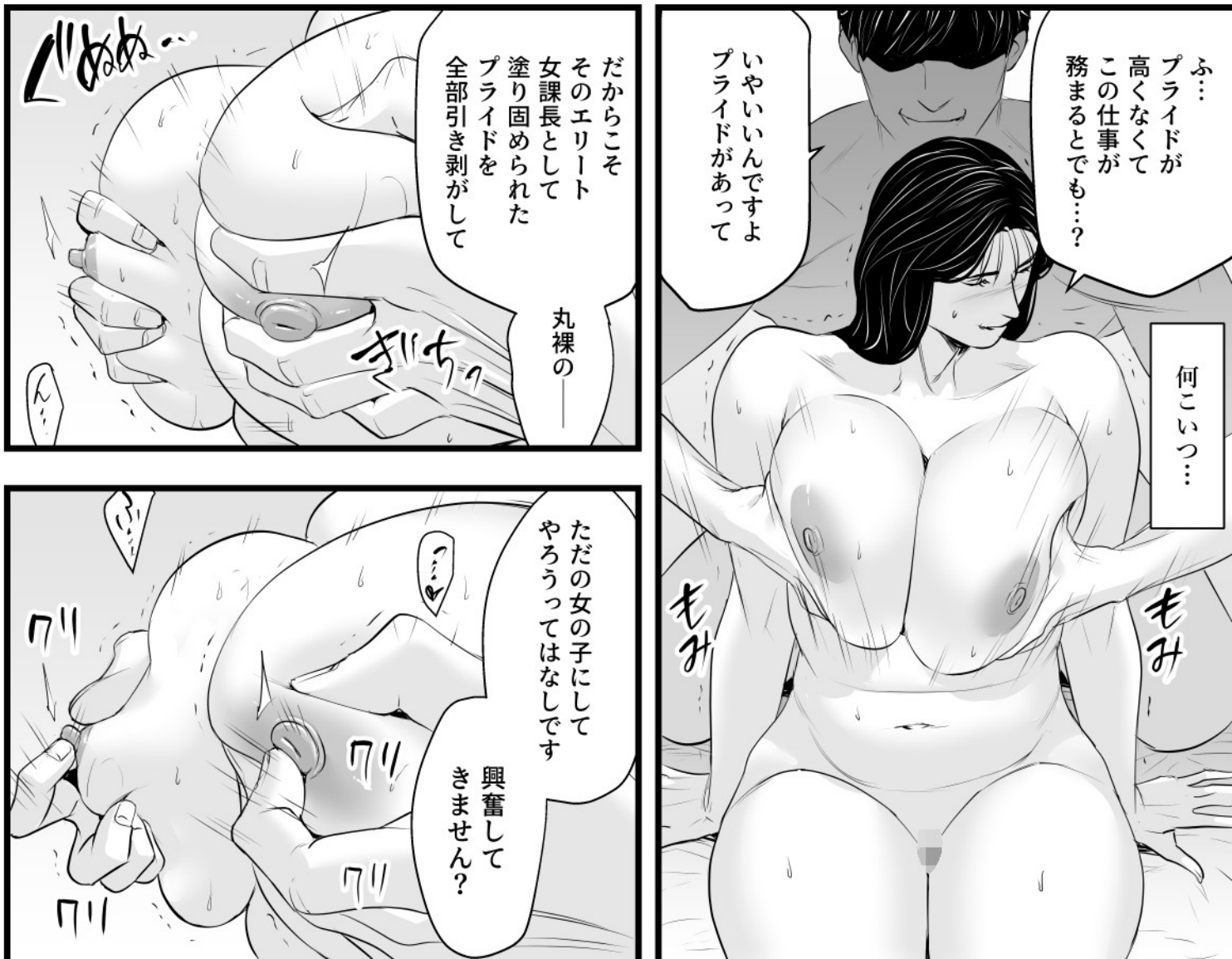
う〜む
これは
参ったな…
ふふ 好きよ
男の子が
悶えている姿
職場じゃ
誰もいじめさせて
くれないんだもの
ここまでは
合格点あげても
いいかな…♥
ウフ♥
ああっ…
もうやばいです
ふふ
遠慮しないで
おもいっきり…
ぶちまけなさい…!!
おお…
また締め付け…
でっ…

射精で…るッ……!!
?♡
ぴゅくっ
ぴゅるっ
あ…ん♡
ぴゅるっ
ぴゅくっ
ぴゅるっ
ぴゅくっ
ぴゅるっ
ぴゅくっ

…おや～？
もしかして精子の味に
酩酊してらっしゃる？
ドキッ
！
ば…
バカなことを
ふふ…
反応を確認して
みましょう
あっ…

ほら～さっきより
感度上がってるん
じゃないですか～？
これはそうとう
ご無沙汰だったようだ
そっ
そんなわけ…
ん…
ぎちっ
クリ
クリ
ぱーっ
ッ…
ドキッ
ふ…まあね
そうでもなきゃ
こんな
んあっ…
びくん
ん…
ぐちょ
ぐちょ
そうでもなきゃ
僕のような
下っ端社員に
身を任せること
なんてありえない
…と？
ッ…
ぐちょっ
ぐちょっ
ちっ違う
そういう意味じゃ
ははいいんですよ
むしろそういう
態度は好物です
は…


止められた…？
喫茶店での煮え切らない態度もそうでしたけど——
佐藤課長って実際のところかなりプライド高いっすよね
……
ピク


何こいつ…
ふ…プライドが高くなくてこの仕事が務まるとでも…？
いやいいんですよプライドがあって
だからこそそのエリート女課長として塗り固められたプライドを全部引き剥がして
丸裸の——
ただの女の子にしてやろうってはなしです
興奮してきません？

…言ってる意味がよく分からないわ
あれ～？おかしいな～そっちの素質があると見受けられたんですが
びくんっ
くにくに
っ…!?

あっ
例えばさっきから膣内を刺激するとき
本当は微妙にポイントずれてましたよね
!?
ちょっ…
裏側から陰核（クリ）に響くようなあの絶妙なポイントじゃない
くちゅ
びくっ
それなのにそこそこ感じてるふりしてましたよね～
こいつ…
…!!
あくどいな～ほら――
待っ…
くちゅ

ほんとは
ここでしょ？
ちょっと
待っ――…
いいですね
その反応
今日一番
可愛い声が
出ましたね
だめ…
そこ
そういう反応が
見たかったんですよ～

ばれちゃいましたね～
見つからないように隠してたのに
でも卑怯じゃないですか？
!?
全力でアタックしてこいって挑発しておきながら自分はちゃっかり弱点を守って
男には決して主導権を渡さない…
そういう魂胆だったわけでしょう？
そ…
そんな…
待って待って…
ぎしっ
ぎしっ
ぶるっ
ごうーっ
そんなつもりじゃ…
びくんっ
んあっ
わ…わかったから
はーっ
認めてあげるから…浅野くんのことっ…
ぐにっ
ぐにっ
ちゅっ
とっても愛撫が上手で…だからもう…
はーっ
ちょ
ははは『認めてあげる』ときましたか…
私何言って…
この期に及んで本当にプライドの高いお方だ…!!
ぶるっ

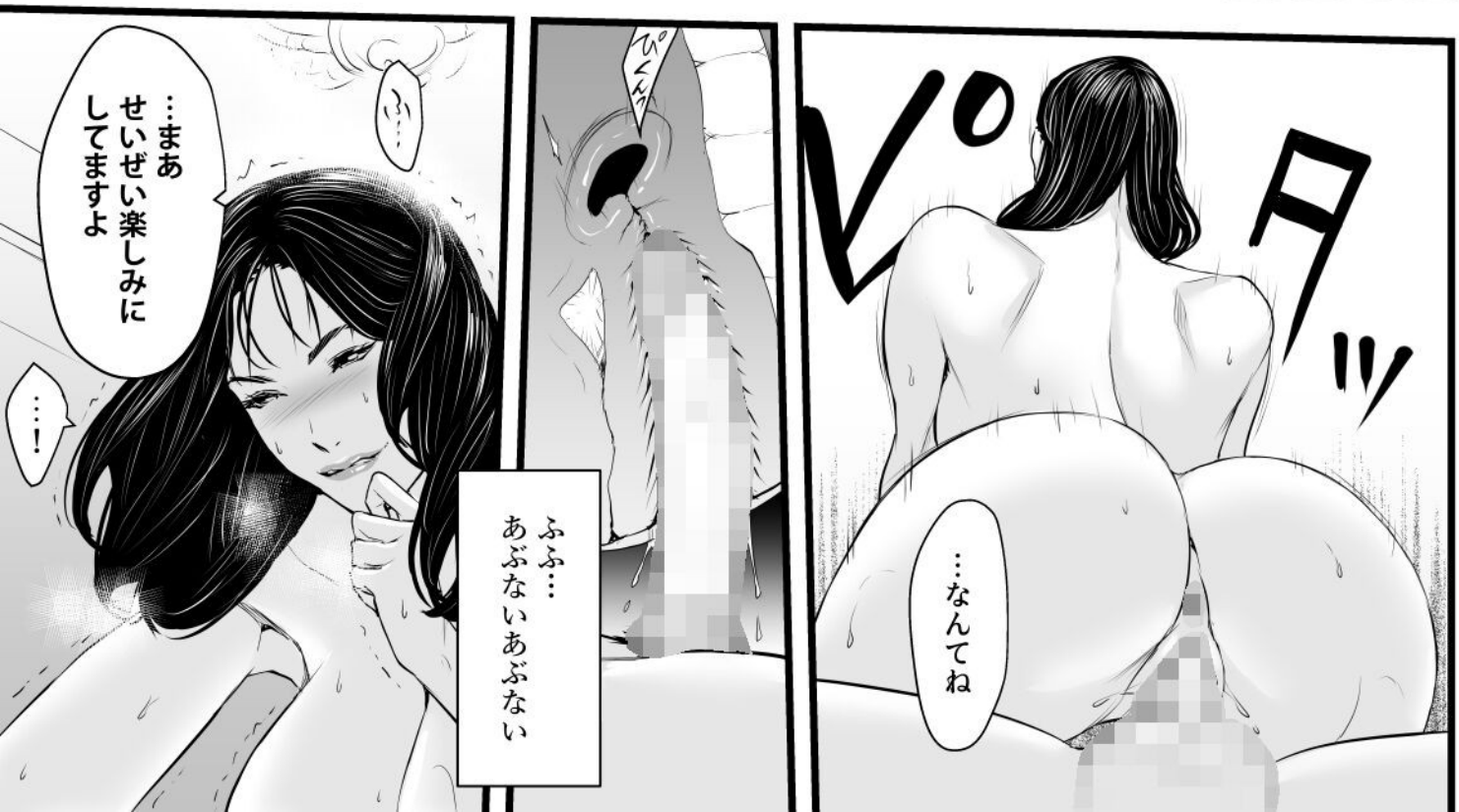
だめぇそこは…
言ったでしょう？
そういうプライドを
引き剥がして
丸裸にして
あげるって
楽しみですねえ
プライドが高い
ってことは
それだけプライドを
損なわれたときに
『屈辱』を感じやすい
体質ってことですからね
何言って…？
分かりますか？
『屈辱』って
『悔しい』
とか
『恥ずかしい』って
感じることです

…!?
え…?
うそ…!?
ほんとに
イッちゃった…?
は…あ♥
あ…♥
いったい何が…
急に感度が上がって
思いがけず
イッてしまったって
反応ですねぇ
はぁ…
はぁ…
さて何が
引き金だった
のでしょうか～?
…!?
おや?
まだピンと
こない?
……?

今一度
思い出してください
今夜の戯れの名目を
たしか職場で
満たされない欲望を
充足するための
セックス…
だったわね
びくん
ズプっ…
そうです
え…と
GEKIUSU
003
SUPER FIT
ふふ…そのことなら
今日は感謝してるわ
あ～退屈
大っき…
ッ…
ズルっ…
……真剣勝負の
ようなスリル――
ズプっ…
退屈しないわね
はあ
ふふ…
勝負はこれからよ

あんっ♡
ふふふ…
お互い一回ずつ
イカされたんだから
まだイーブンって
とこよね？
ぎしっ
ぎしっ

…しっかし
硬さといい
サイズといい
期待以上ね…！
……
油断してたら
またイカされ
ちゃうかも～
ぎしっ
ぎしっ


パタッ
…なんてね
ぴくんっ
ふふ…
あぶないあぶない
…まあ
せいぜい楽しみに
してますよ
…！

その真剣勝負とやらの『結末』がどうなるのか…
『結末』って…
……？
ッ……!?
はんっ
はっ

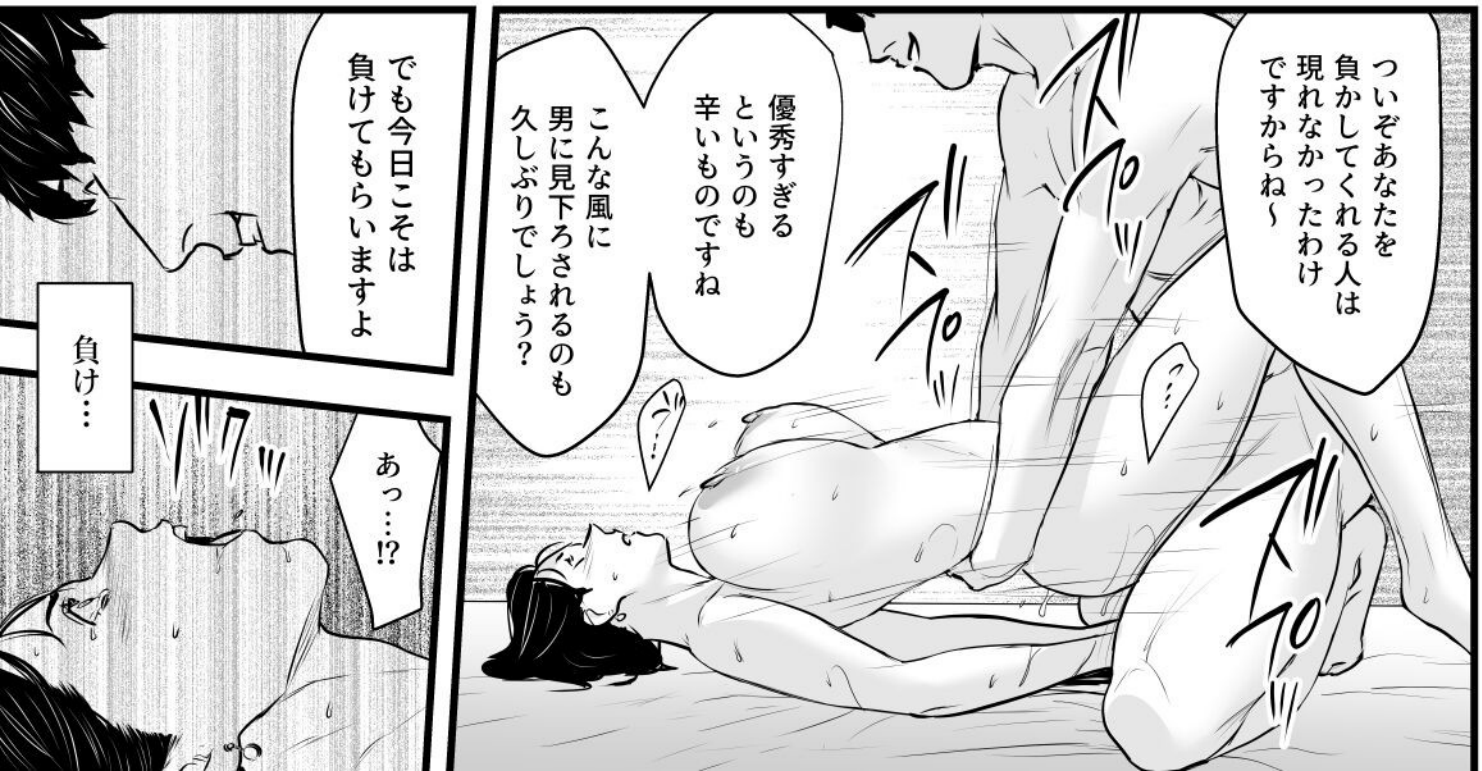
まさか勝負そのものが目的じゃないでしょう？
びくんっ
はっ
ガク
あ…
ちょ待っ…
奥が…
はーっ
ドクン
いいかげん認めたらどうです？
本当の願望はその先――
ドクン
はーっ
あ…
はー…

は…？
負かされたいんでしょう？
ボオ…ボ…
な…何言ってるの
そんなわけっ…
だって私はっ勝ち続けて…課長にまで昇進してっ…
そ それで…
!?
だからこそでしょう!?

連続でイッちゃった…
か…は…♡
ガク
ガクッ
!?
うちに秘めているものなんですよ～
あなたのようなエリートで勝つことを義務付けられたような人生を歩んできた人ほど
『せめてベッドの上では――心置きなく負かされたい』…って
…!?
は?
な…なによそれ

あはは
傑作だわ…
面白いこと考えるのね…!!
はーっ
でも残念…外れよ
はーっ
あれおかしいな

なんで
こんなに興奮
してるんだろう
ずっと欲求不満
だったんじゃ
ないですか？
それこそ
職場の競争が
激しかった
頃ですら——
!?


ついぞあなたを
負かしてくれる人は
現れなかったわけ
ですからね～
優秀すぎる
というのも
辛いものですね
こんな風に
男に見下ろされるのも
久しぶりでしょう？
でも今日こそは
負けてもらいますよ
負け…
あっ…!?

イクっ……
あぁ…♥
お…
ビク
ビク
ビク

自覚しちゃいましたね今
何これ
身体の奥底から湧き上がってくる…
あ…
ドクン
あぁ
ドクン
あ…♡
ドクン
な…あぁあ

欲情が止まらない…
じゃあ祝砲代わりに一発…♥
か…♥
あぁ…
ためぇ奥
あぁっ…♥

おおぉ…
脈打ってる…
ビクンッ
ビクンッ
はぁん♥
ガク
ガク

5回…いや
6回は
イカされた…
お…おぉお♥
ガク
年下の男の子を
弄んでやる
つもりだったのが
逆に
ねじ伏せられ
ちゃった…
ビク
ビク
は…あ
こんな快感
初めて…
ズル…
ぞく
ぞく
ぞく
ビクンっ
お…
は…♥

本当にこいつの言う通りだっていうの…？
こんな屈辱的なことさせられても
あ…♡
ん…
ゴクン
ぐ…
なお欲情は募るばかりで…
ぷはぁ…
きゅん♡
きゅん♡
くく…お手伝いしますよ
…!?

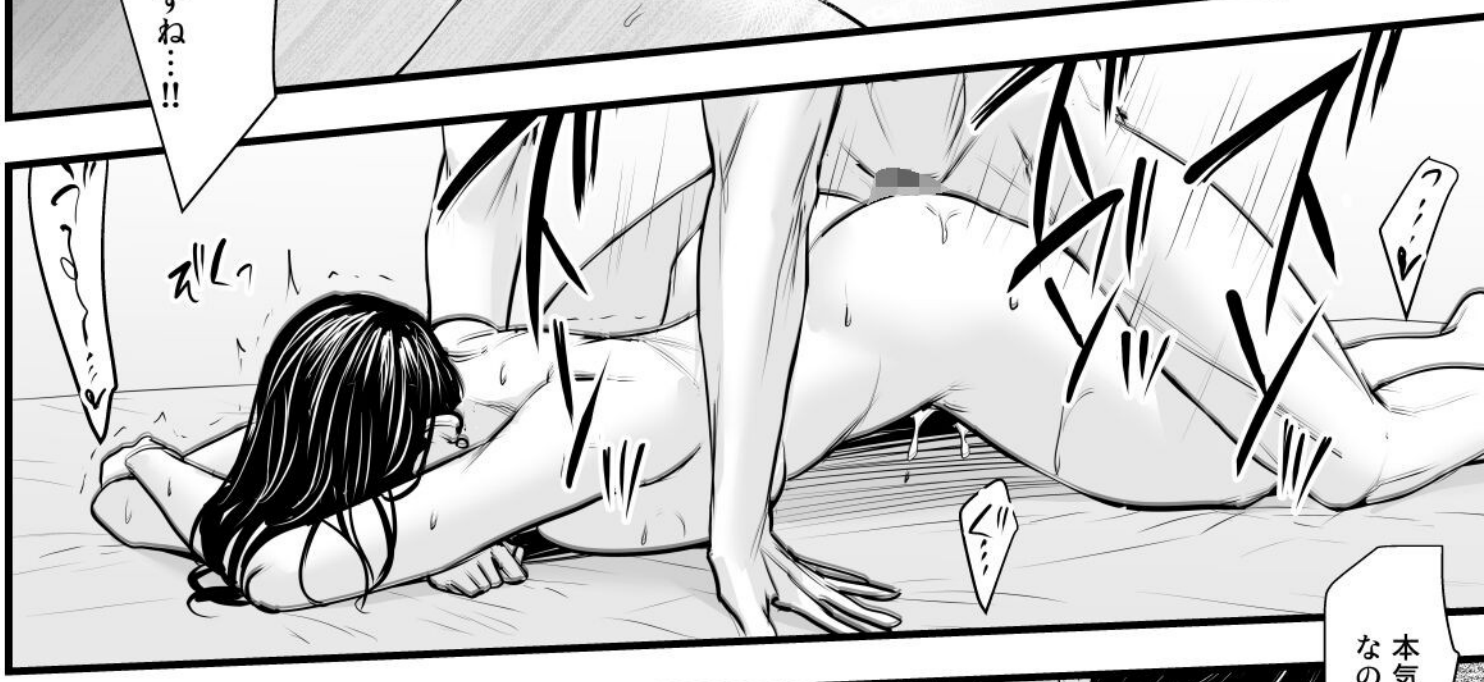
男に主導権を握られるなんていつ以来だろう…
ん♡
ふっ
くちゅ
悔しい…けどムラムラして止められない快感に負けちゃ…
ぐぅっ…♡
ガク
ボオ…♡
ぐちょ
負…け…

負ける…!!
負…け
あぁ…♥
あっ…
マイ…
無様な姿だ
くく…
GEKIUSU
003
SUPER FIT
ああっ
この感覚

自分の身体が
どうしようもなく
快感に平伏する
しかない感じ
必死に頭で
否定しようと
しても…

どうしました？
もう腰が
持ちませんか
む…無理

どうしようもなく
気持ちいのぉ…
ぐっ
ぐっ
ぐっ
ようやく
認めることが
できたようですね…!!


ぐっ
ぐっ

本気…
なのね!?
本気で私を
負かそうって…!?
負かす…!?

『負かす』なんて
もんじゃない…!!
『屈服』させて
やりますよ…!!
これ
これ
硬い…
こういうの
待ってた…!!
もっと…
すごい
濃い…
ぺっ
ぞくっ
あっ
イク…
ガク
ガク
は…あ

もっと
いじめてっ…
ああん
そこいい…
はーっ
イッたばかりで
弱くなってるとこ…
突かれると
すぐイクっ…
またイク…
はーっ
はあんっ

イキすぎて
馬鹿になる…
ぎレっ
ぎレっ
…ちょっと
休ませて
イキっぱなしで
苦しい…
はーっ
あ…
ぶるっ
もっと…

無理…
思いっ切り
破裂しそう…
あぐ…♥
びくん
やめてって
冗談じゃ…
な…
っ…お
あああ
へ～
そいつは大変だ
はーっ
きゅんっ
いやあ…
吹いて…る♥
もっと
苦しめて…！
はーっ
きゅんっ♥
はーっ
きゅんっ♥

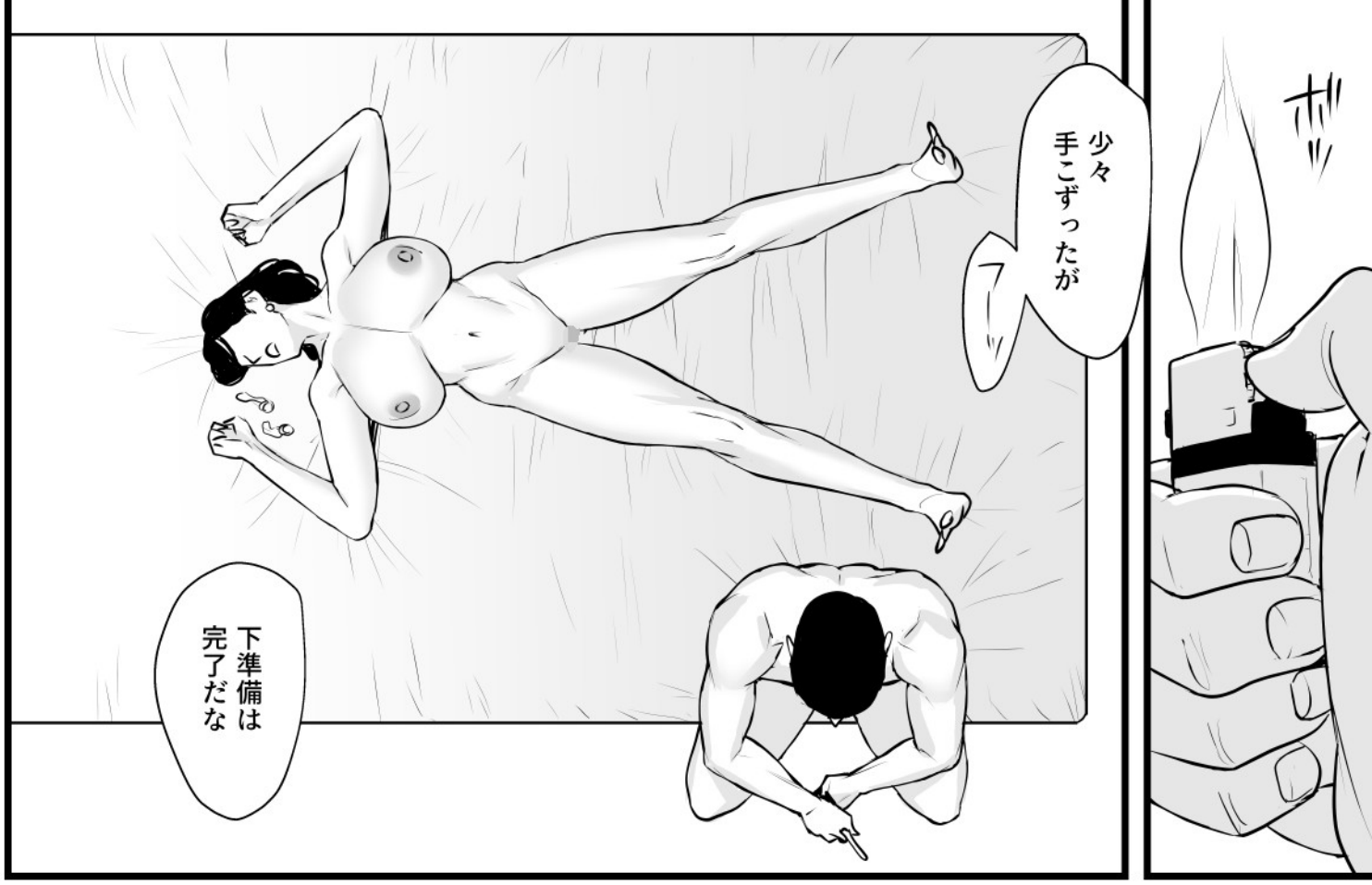
だめよ…
こんな…
みっともない姿
くく…
その
『みっともなさ』
がたまらない
んでしょう？
あっ…
やはり
そっちの素質が
ありましたね
ずっと
ずっと
これを望んでた
ひっ
ひぃ…
ぞくっ
エリート課長に
あるまじき痴態を
晒せば晒すほど
興奮して
きちゃうん
でしょう…!?
ぞくっ
あ…
はぁ…んっ
ぞくっ
そうなのぉ…

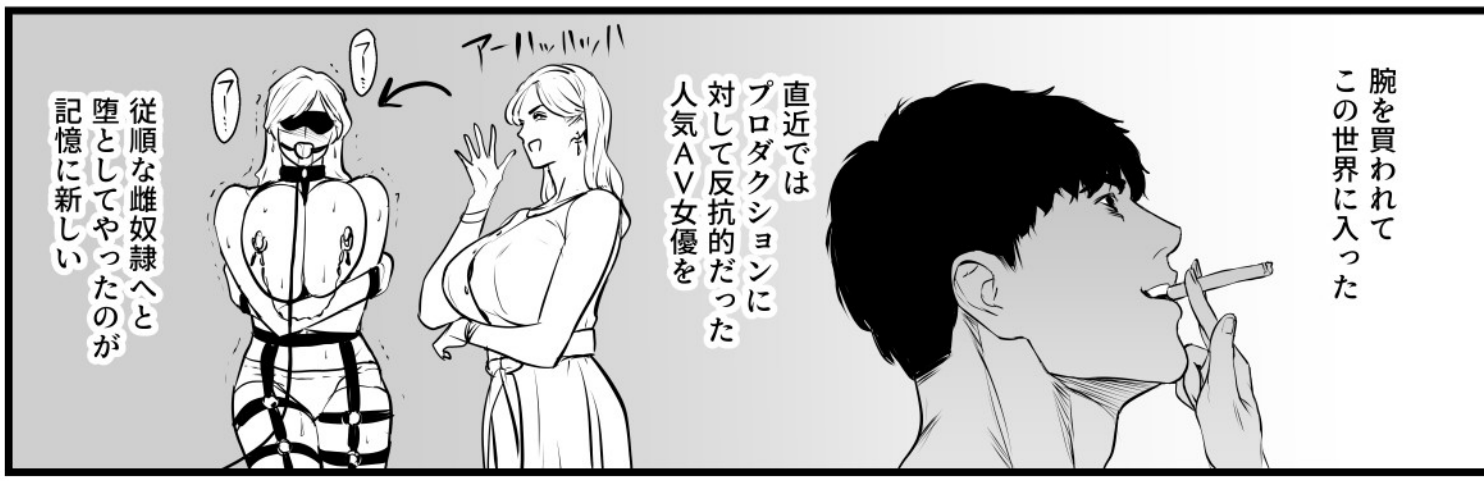
うちに秘めてるものなんですよ
せめてベッドの上では心置きなく負かされたいって
何もかもこいつの言う通り…!!
この身体には5年分…
いや下手したら10年分もの欲求不満が蓄えられている
昇進すればするだけよりいっそう負けが許されない立場になって
もっと
ああ…
もっと激しくっ…
深くっ…
そのたびに欲望は心の奥底に押し込められて…
はぁ…
深い…
好き…
ああ…最高…

でも今
全部解放された…!!
はぁ…
あ…
あぁぁぁ
自分でも
信じられないくらい
たくさんの…
だから言った
でしょう?
こんな
いやらしい身体
見たことないって

イク…
大きいの
くる…また

本当に…丸裸にされちゃった
まるで頭ん中覗かれてるみたいに
こいつ…いったい何も…の…
失神しちまったか

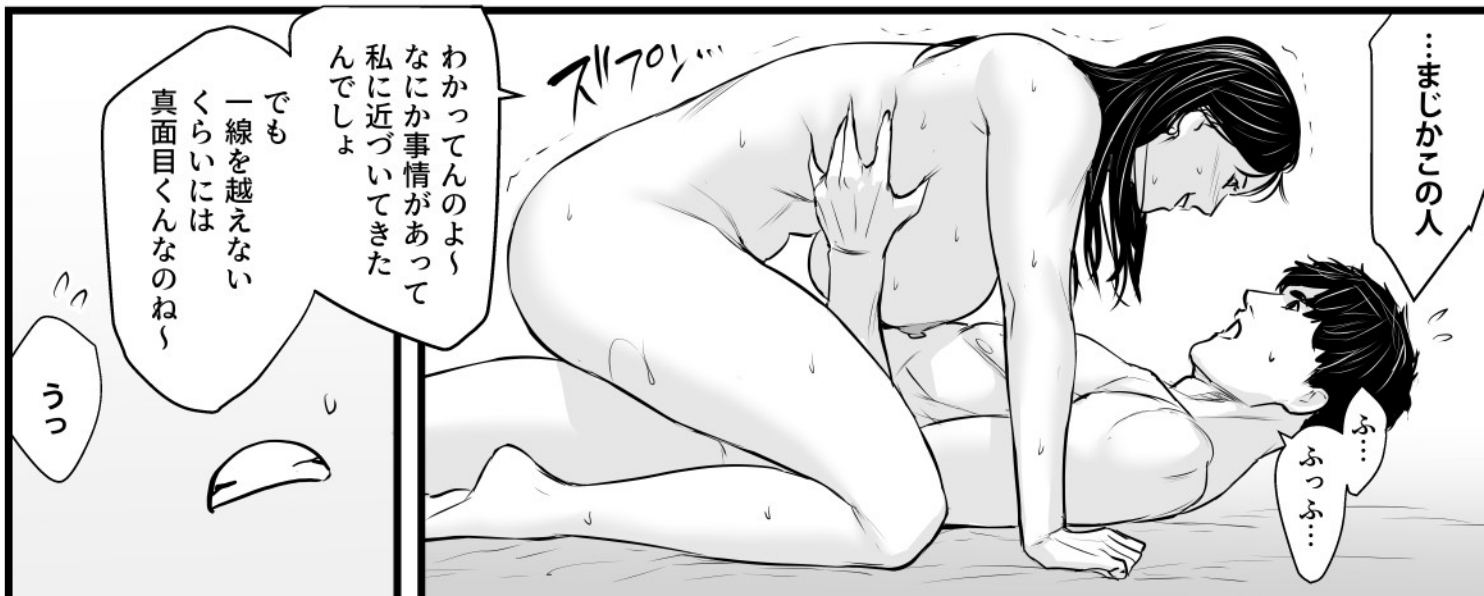

少々
手こずったが
フーッ
下準備は
完了だな


腕を買われて
この世界に入った
直近では
プロダクションに
対して反抗的だった
人気AV女優を
アーハッハッハ
ア…
ア…
従順な雌奴隷へと
堕としてやったのが
記憶に新しい

この女も
相当の恨みを
買っていた
らしいな
今回の依頼は
出世競争に負けた
こいつの元同僚たち
からだった
まあ早い話が
復讐代行って
わけだ
さて…
ま俺はどーでもいーことだが

あとは総仕上げだな
ビクッ
…
くく…
ぐちょ
じゅるる
意識は混濁しているが感度は良好のようだ…
上出来だ…！
ぐぐ
ぐぐ
はー…
あっ…
じゅるるる
このまま脳髄にまで快楽を叩き込んで
仕事に支障をきたすくらいにまでセックス狂いにしてやれば——
う…
ビク
俺の役目も終わりか…
！
っと…!?

驚いたな…
まだ動けましたか
…って
佐藤課長…
ゴムは…!?
はぁ…
…さんざん
恥をかかせて
くれたわね
でもいつだって
最後には私が
勝つんだから…
ずっとそうやって
出世してきたのよ…
聞いてます…!?
はぁ…


…まじかこの人
ふ…
ふっふ…
わかってんのよ～
なにか事情があって
私に近づいてきた
んでしょ
でも
一線を越えない
くらいには
真面目くんなのね～
うっ

で？
今までで一番
硬くなっちゃって
ますけど
ふっ…
ふーっ…
ふふ…意外ね
生セックス
くらいで
狼狽するなんて
開き直ったか…
生半可な覚悟で
私を物にできると
思ったら
大間違いよ…!!
…そっちが
その気ならっ!!
ッ…
悔しくないの…!?
君にも君なりの
仕事のプライドって
もんがあるんじゃ
ないのかしら…!?
この女…
はぁ…

利けなくしてやる…!!
ぼ…
いい加減…
これ以上…
すまん♡
その生意気な口…
ぐあ♡
ぷっしゃあ〜っ
ガク
ガク
ぼ…ぼあ〜っ♡
ああいいっ…
もっと君の全力を叩き込んでっ…!!
はっ
ぐんっ♡
その調子よ…!!
ぼあ〜っ

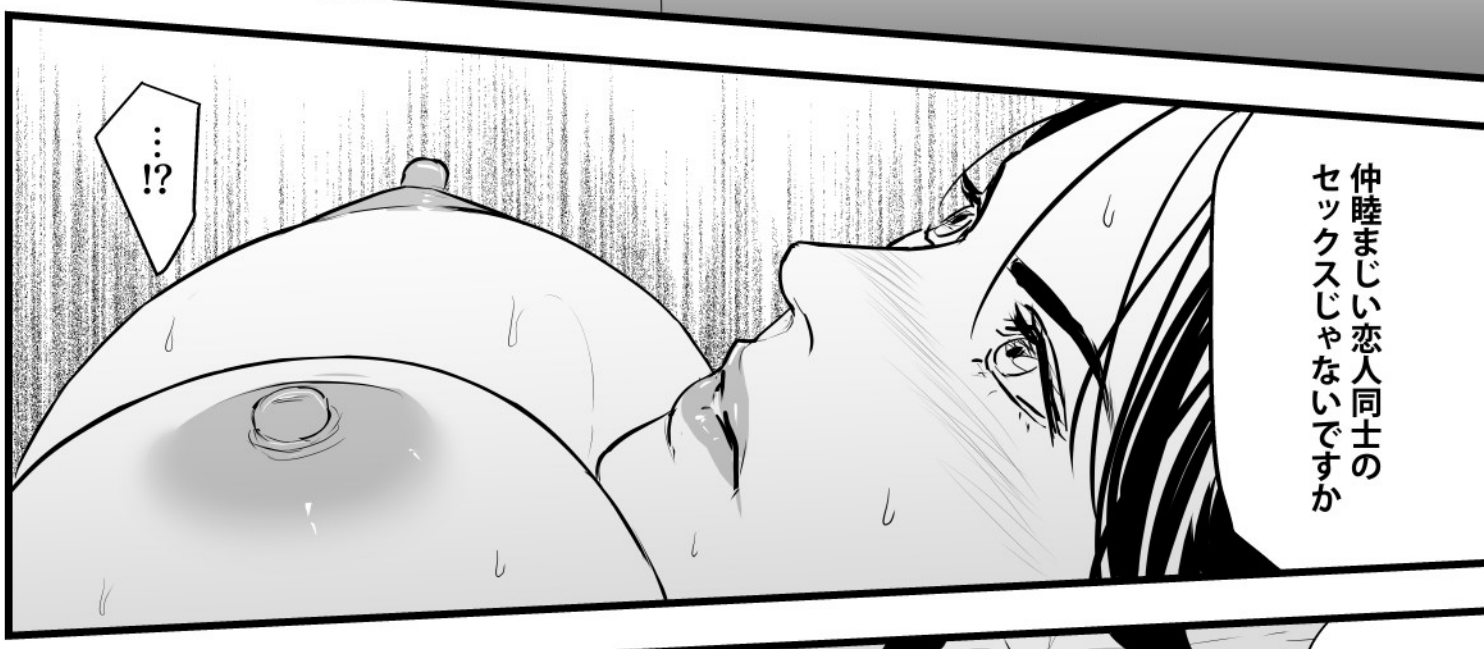
さすが
エリート課長だ…!!
部下の本気を
引き出すのが
巧みですね
あは
言ってくれる
じゃない…!!
あぁ
んあっ
でも…
誰でもいいって
わけじゃないのよ…♥
……
…わかってますよ!!
あなたの
プライドの高さには
ほとほと呆れました…!!
ああん
深いっ…
はーっ
…そうよ
正直言って
かなり君に夢中に
させられちゃってる…!!
君になら――

負かされてもいいっ…!!
剥き出しの全力で…!!
きゅん♡
きゅん♡
あぁん♡
あん
いいんですね…!?
ここまでくれば
もう止められませんよ!!
!?
…来る!!

来る!
負ける…
負けちゃう…
ドクン
ドクン
ついに…
おち○ぽに
負ける～っ!!
ぞくっ
…まずいな

それじゃあ
まずいんだよなあ
今さらあんたは
特定の誰かの
モノってわけには
いかねえんだよ
……
はぁ…
あぁ♥
俺に夢中に
なってもらっても
困るんだよなあ
好きっ…
はーっ
大好き…
おち○ぽ…♥
まったく…
この仕事の
厄介なところだな
来て…
膣内に…
ちと惜しいが
仕方ねえ…
壊しちまうか
!?

……？？
な…
なんで
う～んちょっと
違いますよね
これじゃまるで――
ズル…

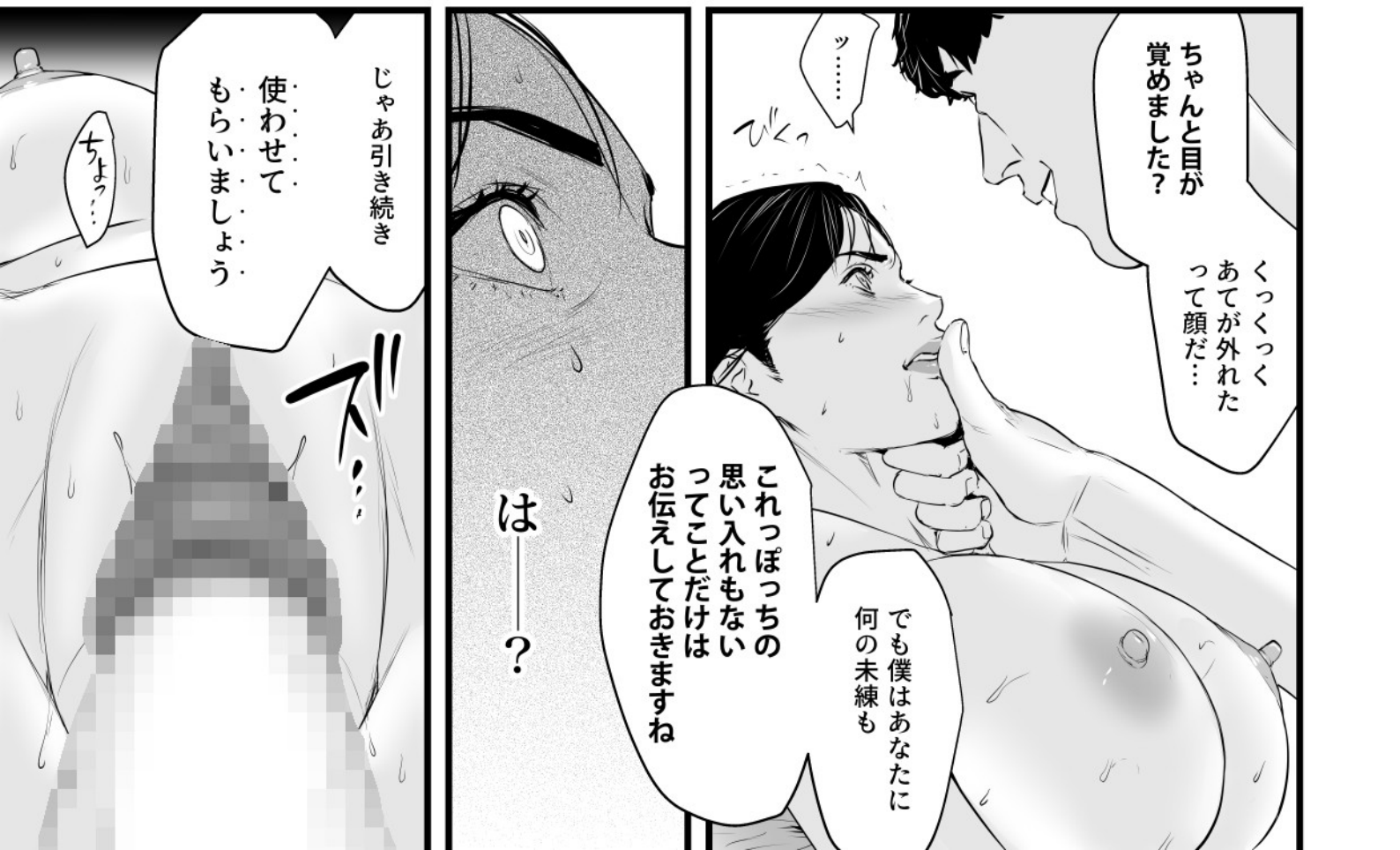

仲睦まじい恋人同士の
セックスじゃないですか
…!?

くく…
いいかげん核心を
はぐらかすのは
やめて
現実見ましょうよ
佐藤課長
もみ
もみ

それを
恍惚な面持ちで
受け入れよう
ってんだから
かなり
恥知らず
ですよね
え…？

ほんとうの
『敗北』ってのは
もっと絶望感に
満ちたもののはず
だと思うんですよ
ぎっ…
ぎちっ

正直かなり
軽蔑してます
今さら
こんな状況で…
は…
…!!
くく…
なんで…!?
なんで急に
突き放すみたいな…
なんで
笑うの…?
くっくっ…


ちゃんと目が
覚めました?
ッ……
びくっ
くっくっく
あてが外れた
って顔だ…
これっぽっちの
思い入れもない
ってことだけは
お伝えしておきますね
でも僕はあなたに
何の未練も
は――?
じゃあ引き続き
使わせて
もらいましょう
ちょっ…

使う…？
イッた…？
今一瞬で…
けど待って
こんなのいや
『使う』って
なにそれ

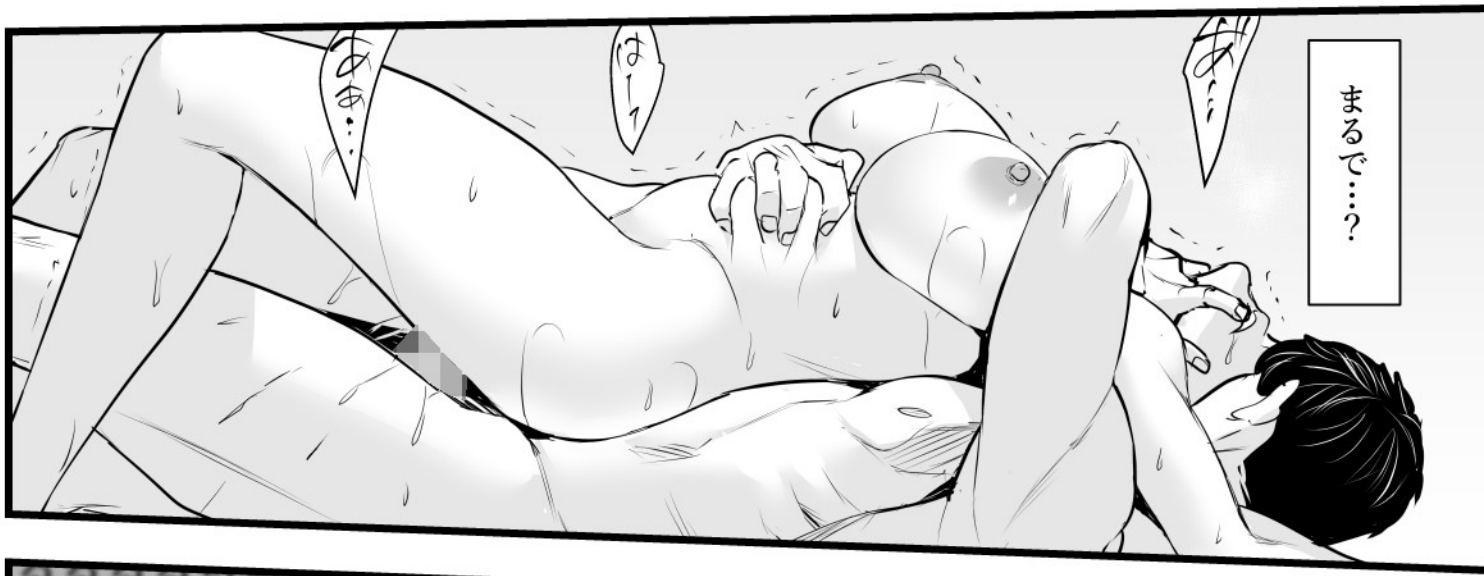
そんな
無機質な響き
やめてよ…
あっ
またイク…

あぁ…
ガク
いやだ
こんな…
こんな冷えきった
形だけのセックス…
ぐぐ…
あぁ…
離し…
私の意思
なんて
無関係に
いっさいの
精神的結びつきを
断たれたまま
ラブ…
ひっ…
はっ!
ただ機械的に
イカされ続ける…!
ハー
やっ!
こんなの
セックスでも
なんでもない…!!
はーっ…
こんな
はずじゃ
なかった——
怖い…
はーっ…
助けて…
だれか——!!
ま…

あぁ
はぁん
待ってよ…
私は君のこと男として
認めてあげてたのよ
こんな仕打ちは
あんまりじゃ…
な…
お…
やめてよ…
こんな風に
イッても
苦しいだけ
なんだってば
や…
やめて
イかせるの…
やめ…
お…
はーっ
やめてってば…
何か
応えてよぉ…

ひどすぎる…!!
こんなやり方…
さんざん
夢中にさせといて
あっさり
拒絶するなんて…!!
わ…
はぁ…
わかったから…!
謝るから…!
挑発したりして
ごめん…
生意気な態度も
改めるから…
はっ
はっ
最後は
外に…!!
……
う…嘘でしょ?
……

冗談じゃないわ……！
本気だ…こいつ……！
離！
ぎしっ
ぎしっ
ぎしっ
そういう『プレイ』ってわけじゃなさそうだ…！
もしこのまま中出しされたらまるで――……
…!?


まるで…？
あ…！
はーっ
あぁ…

始まったか
だめ
なんで…
あ…
ああ…
あ…
犯される

なんで子宮が疼き出すの…
犯される
犯される
犯される
犯される
犯される
ああ…
ああ…
子宮が…
呼びかけてくる…！
やめてよ…

そんなこと
望んでないってばぁ…

ズキッ…
待ちなさい…
こんなやり方は
卑怯よ…！
あぁ…
ダーッ
こんな『負け方』は
認められないわ…！
こんな
力づくで…
あぁ…
や…やめ…

……もうやめてってぇ
離してって…
これ以上
イキ続けたら
本当におかしく
なっちゃう…
望んでないんだって…
やめてよぉぉぉぉ

はーっ…
もう許してってば…
これ以上
おま○こ
虐めないで…
おぉ…
苦し…
やめ…て

ゴキ
ガク
な
に
れ
こ
ガク
あっ…？
は…
子宮…
壊れ…た？
ひ…
ガク…
直に…
注がれる…!!
やあああっ…
くく…
こんな
雑魚ま○こ

一発で
妊娠確定ですよ
ぐっ
ぐぐっ
妊娠
妊娠

嫌っ
嫌っ
いやっ
嫌ぁ…
ぐっ…
あ…あ
妊娠
精液

嫌だって言ってるのにっ…
プルルルルルル
!?
依頼客
ああどうも
今まさに
総仕上げの
最中ですよ
彼女ですか？
くく…
そうですね
肉体が先に堕ちて
精神はギリギリで
踏みとどまってるって
とこですかね
ぎしっ
ぎしっ
ぎしっ
はーっ

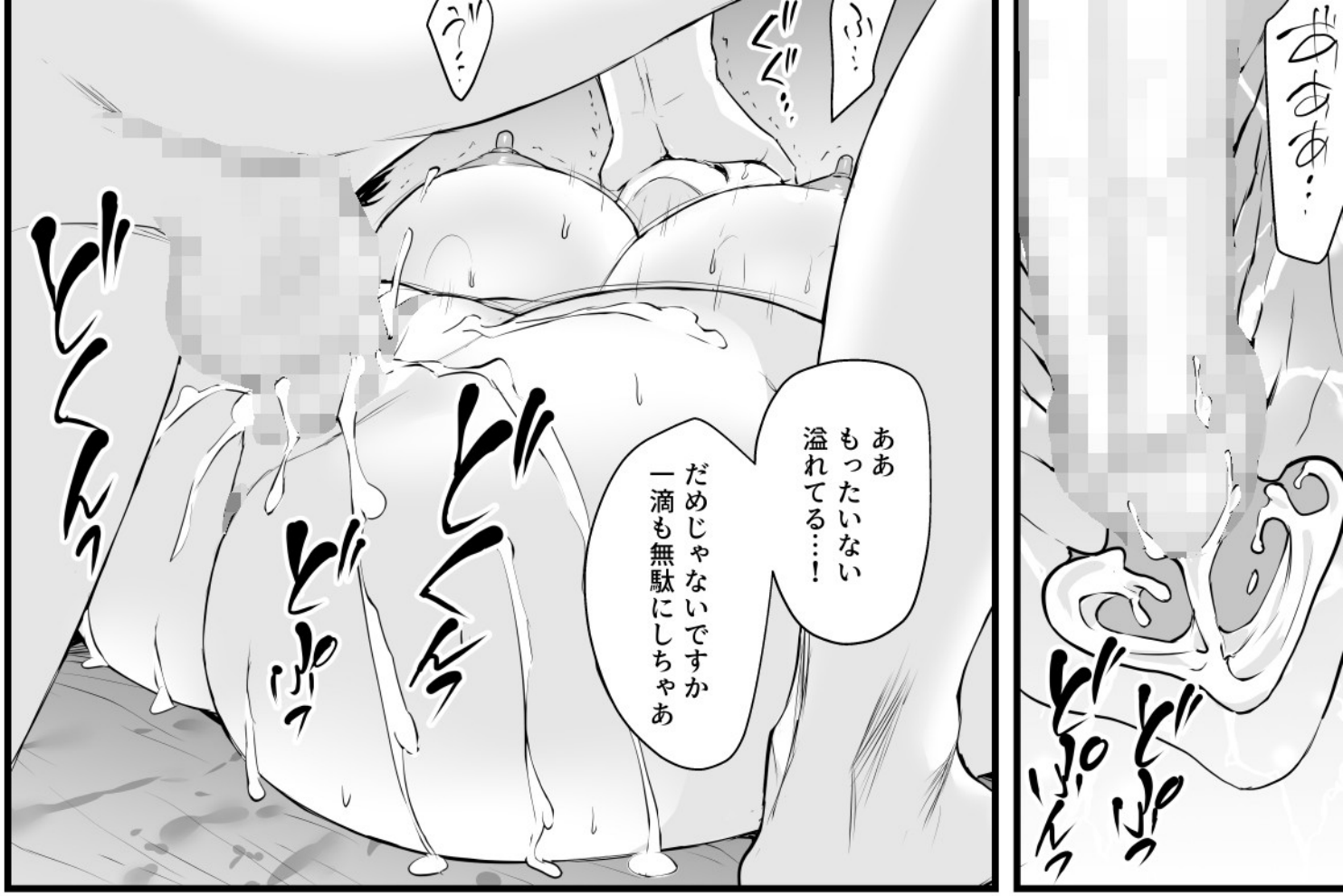
手が勝手に…
いやぁ…
はーっ
びくん
ムラムラするぅ…
制御不可能な
肉欲と
自己嫌悪との
せめぎあい…
ああんっ
精子欲しい…
だめぇ…
はーっ
びくん
指止まんない…
女性としての尊厳が
潰える寸前って
ところですかね
びくんっ
〜〜…
たぶんもう
ふぁ…
あ
切りますね
ビク…
堕ちます——

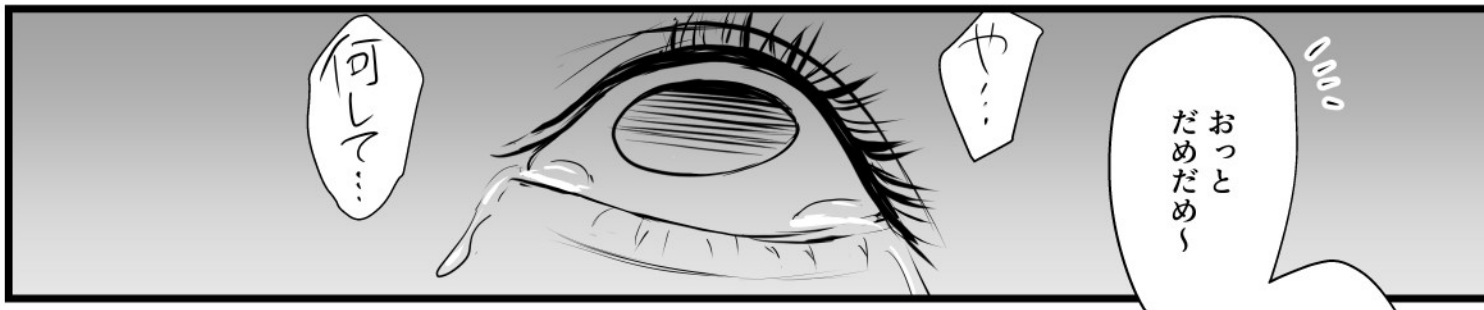
っ……
あ……
くく…
ようやく
頭の中がクリアに
なったみたいですね…!!
おめでとう
ございます…!!
あ…
精子…

あなたのような
麗しい女性を
破壊してしまうのは
正直言って
忍びなかった
んですが
まあ情けだと
思ってください
ぷしゃあああ
これからこの身体を
数多の男たちの欲望が
貫いていく
ことになる――

いっそのこと
意志をもたない
人形にでもなって
もらったほうが
あ…
あぁ…
絶望を感じずに
済むでしょう？
犯し…て
はぁ…
は…あ
ん…っ
くく…
上出来です
あぁ…
あ…

お…おぉ♡
温っかい…
は…ぁ
ビクビク
ビクン
ビクン
ビクン


おおお…
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
ああ
もったいない
溢れてる…！
だめじゃないですか
一滴も無駄にしちゃあ
どくんっ
どくんっ
どくんっ


何して…
や…
おっと
だめだめ～

泣き喚かれると
面倒なんで
塞いじゃいますね
ぐぐっ…
ズルルッ…
ちゃんと
立場分かって
くださいね～
ぐぐっ…
今さら
後戻りする
権利なんて
ありませんよ
ヤバイッ

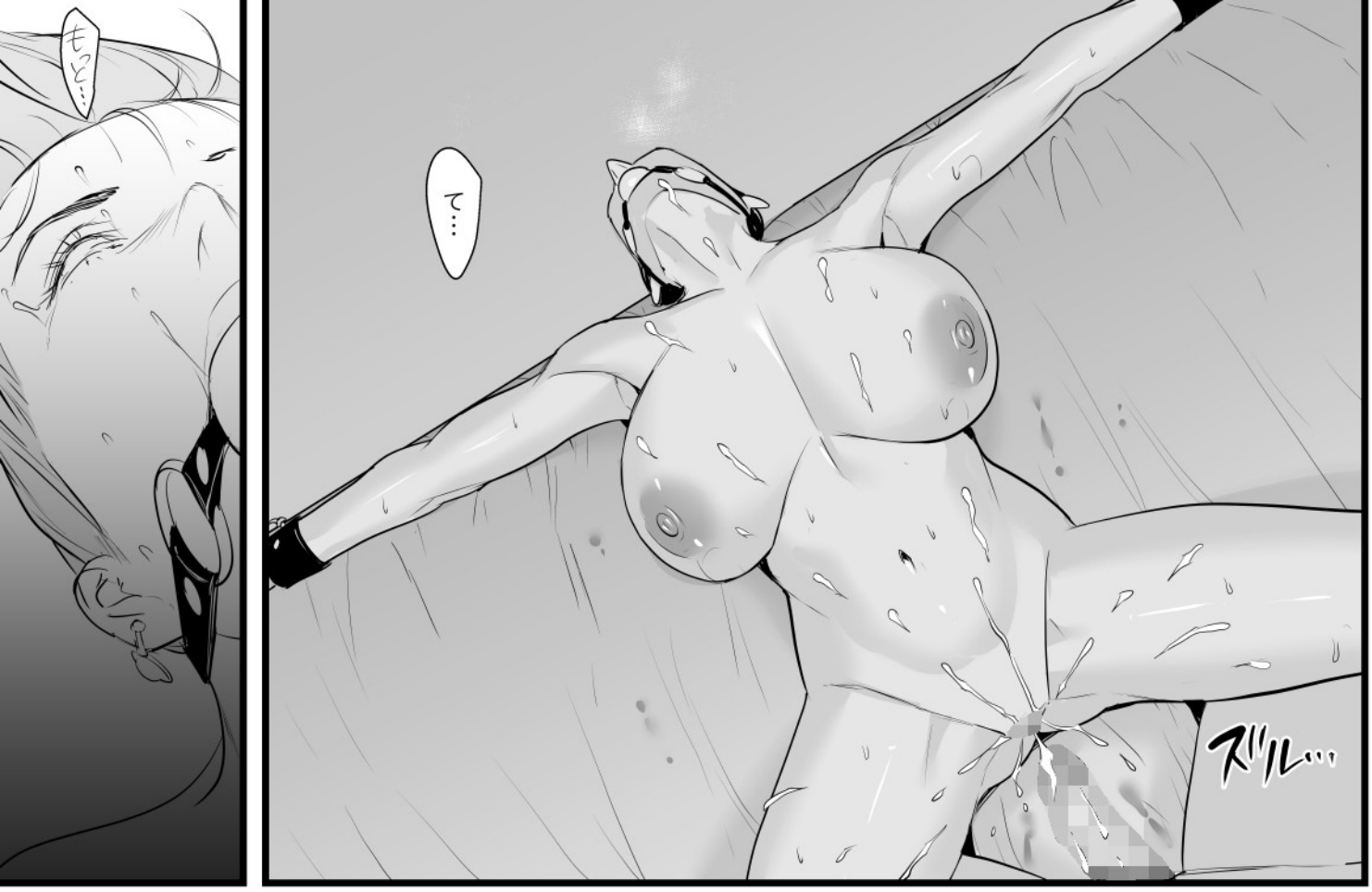
――っと…!!
う～む
我ながら
いい仕上がりだ
子宮口
擦るたびに
ビクビク
イッてますね
気持ち…
い…
あ そうだ
『エリート課長としての
プライドを全部引き剥がして
ただの女の子にしてやる』
って言いましたけど
もっと…
欲し…い
あれ訂正します――

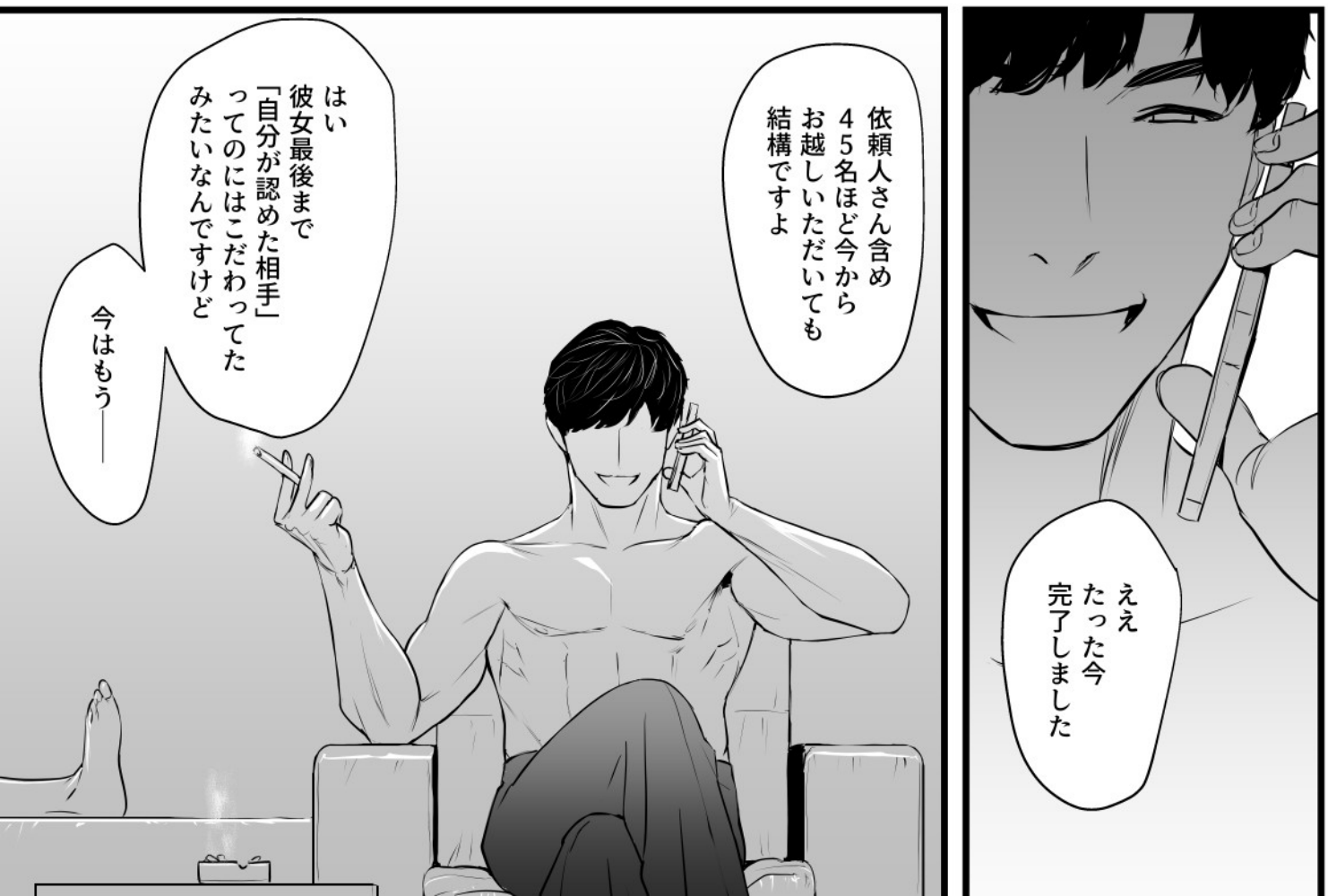
『雌豚』に昇格ですね
ふっ…
め…めすぶた…だ…
お…
ひゅくっ
お…
ぎちっ
ぎ…
ぶ…ぶ…
ふお…
びくんっ
びくんっ
びくんっ
びくんっ

中途半端に残ってるな…
ふーっ
全部射精しきっちゃうか
ふぅ…
ぎしっ
ふーっ
ぐぐっ…
ぎしっ
ぎぃ…

犯…して
もっと…欲し
ぎしっ
ぎしっ
ぎしっ
流し込ん…
で…

ぱんぱんぱんぱんぱんぱん
ぱんぱんぱんぱんぱんぱん
ぱんぱんぱんぱんぱんぱん


もっと…
て…
ズル…


ええ
たった今
完了しました
依頼人さん含め
45名ほど今から
お越しいただいても
結構ですよ
はい
彼女最後まで
「自分が認めた相手」
ってのにはこだわってた
みたいなんですけど
今はもう――

誰のち○ぽでも
受け入れると
思いますよ
犯される悦びに
目覚めてしまった
ようですから

びゅるるっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
びゅるっ
びゅくんっ

次俺の番な～
誰この人たち…？

びゅくんっ
？？？

これで全員
2回ずつは
中出ししたか
流し込まれながら
中イキして
やがるぞこの女
あのくそ生意気な
佐藤がこんなんに
なっちまうなんてな～

まあ
どうでもいいっか

—終—